

特集

名古屋 「ケーブルフェスタ2015」 の見所

10月2日(金)、名古屋で「ケーブルフェスタ2015」(主催:日本ケーブルテレビ連盟東海支部)の業界向けのB2B展示会・セミナーなどが開催される。展示会は合計39ブースで、ベンダー各社の最新製品が展示される。この記事では、製品の主要分野別に、注目展示を紹介する。また、主催者を代表して日本ケーブルテレビ連盟東海支部の田村欣也支部長((株)ZTV 代表取締役副社長)が、B2B展示会・セミナーと一般向けのB2Cイベントの見所を解説する。※ミハル通信の展示新製品は32~33頁に掲載。

●文:渡辺 元・本誌編集部

業界向けのB2B展示会・セミナー

- ・開催日:10月2日(金)
- ・会場:ホテル名古屋ガーデンパレス
(名古屋市中区錦3丁目11-13)

一般向けのB2Cイベント

- ・開催日:10月3日(土)・4日(日)
- ・会場:オアシス21(名古屋・栄)

4K分野は制作機器、HE、エンコーダ、STBなど

10月2日(金)に開催されるケーブルフェスタ2015のB2Bイベントでは、ベンダー各社が出展する展示会を行う。今年39ブースで最新製品などを展示する。主要出展者別の展示製品については、本誌10月号「名古屋『ケーブルフェスタ2015』メーカー展示会に35社が出展 4K・10Gなど最新製品を紹介」(36頁掲載)をご覧いただきたいが、今月号では主なジャンル別に注目した製品を紹介したい。

今年の展示物の傾向としては、4K、FTTH、無線の分野が目玉を引く。

4K分野では、ティーブイエスネクストがソニーの4Kカメラ「PXW-Z100」「PMW-F55」、EDIUSを搭載した編集機「HDWS-4K」を展示する。パナソニックシステムネットワークスは新ベーシックSTBとともに4K対応STBを展示。ビデオトロンは4K対応のコミュニティチャンネル制作シ

ステム「4K Vbus」、古河電気工業は4K対応ヘッドエンド装置、パイオニアはハイブリッドBOXとともに4K対応STBに展示する。ソニービジネスソリューションは4K対応ネットワークカメラの新製品「SNC-VM772R」、Harmonic JapanはHEVCの4Kライブエンコーダ「Electra X3」を展示する。Harmonic Japanは製品のデモ展示のほか、ケーブルテレビ事業者での導入事例も紹介する。

FTTH分野は10Gシステム、無線分野はMVNOなど展示

FTTH分野では、ミハル通信はHFCから段階的にFTTH化できる「FLEX FEED SYSTEM」をCATV監視装置や新製品の統計多重システムとともに展示する。シンクレイはHFCとFTTHを併用し集合住宅にも対応する「R-PON+『プラス』Bシステム」の展示。古河電気工業と住友電気工業はそれぞれ

10G-EPON、伊藤忠ケーブルシステムはアルカテルの次世代GPONのシステムを展示する。三菱電機はGE-PONのOLTとWi-Fi内蔵ONU、マズプロ電工はV-ONUを展示する。

無線分野では、ジャパンケーブルキャストはMVNOを提案。ティーガイアはMVNOを事業展開するケーブルテレビ事業者向けの研修やサポートデスク、SIMフリー端末を提案する。ファイバークエストはケーブルテレビ事業者と展開する外国人観光客対応のWi-Fi新サービスを提案。サイバー・ネット・コミュニケーションズはケーブルテレビのMVNOを支援するセキュリティサービスや電話アプリなどを紹介する。

この3分野の他にも、防災、コミチャン、データ放送、プラットフォーム、顧客管理システム、アーカイブ、IoT、M2M、ビッグデータ、ドローン、ファイナンスなど幅広い分野の最新製品・ソリューションが勢揃いする。

